

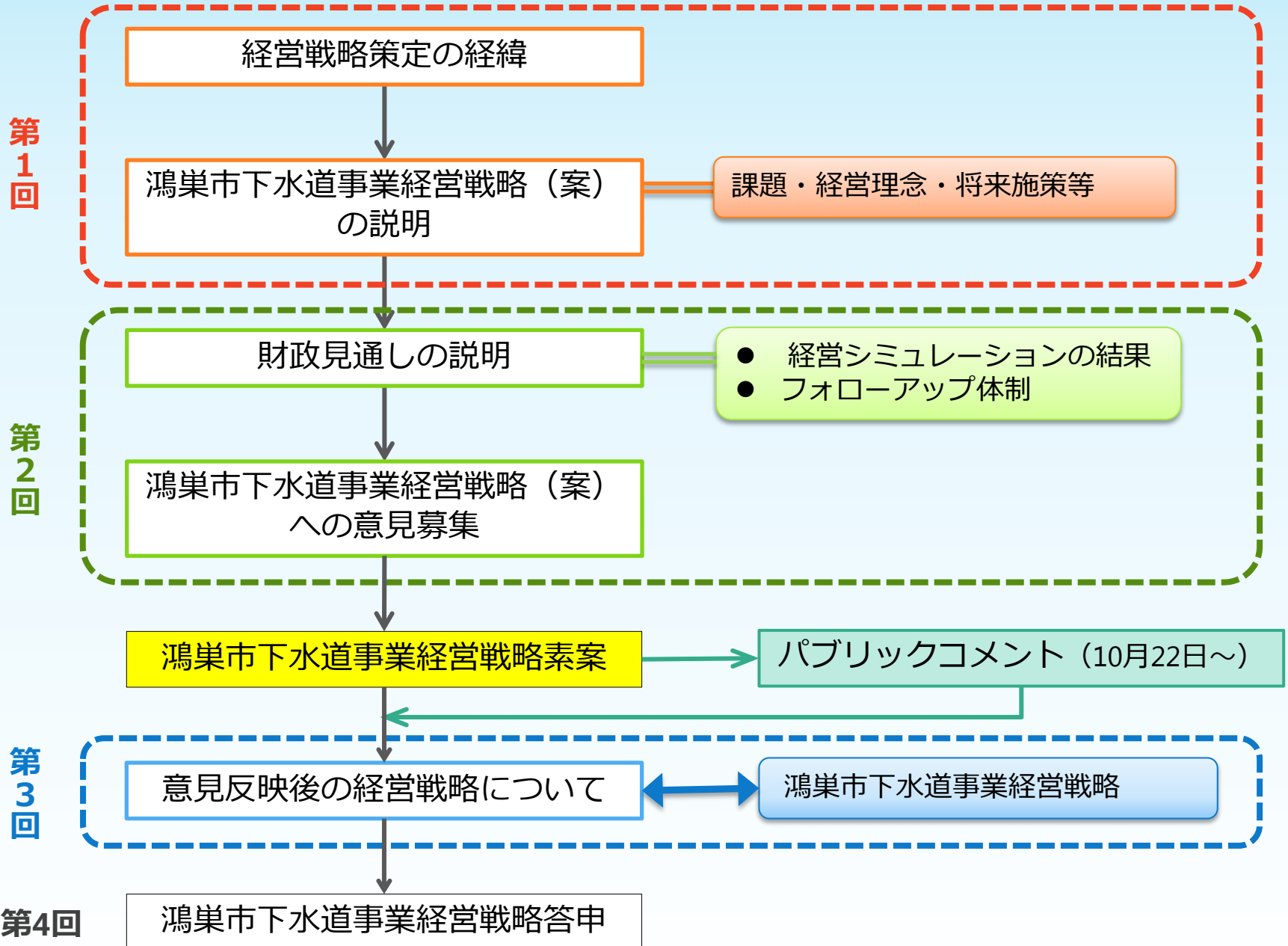
鴻巣市下水道事業経営戦略策定について

第2回 審議会

平成30年9月28日

鴻巣市 建設部 下水道課

審議スケジュール



本日の説明内容

(1) 経営戦略案の説明・審議

ア) 第1回審議内容の修正案提示

イ) 事業計画と財政の見通し【説明、質疑・回答】

(2) パブリックコメントの実施内容について

事業計画と財政の見通し

下水道事業の会計について-1

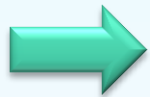
自治体の会計方式



官庁会計

市の一般会計で採用

- ◆ 単式簿記（一般家庭の家計簿と同様）
... 現金の増減を記帳。



公営企業会計

鴻巣市下水道事業で採用

- ◆ 複式簿記（民間企業と同様）
... 現金の増減だけでなく、その要因や資産の増減も記帳。

営業活動の損益、保有資産とその財源を把握

下水道事業の会計について-2

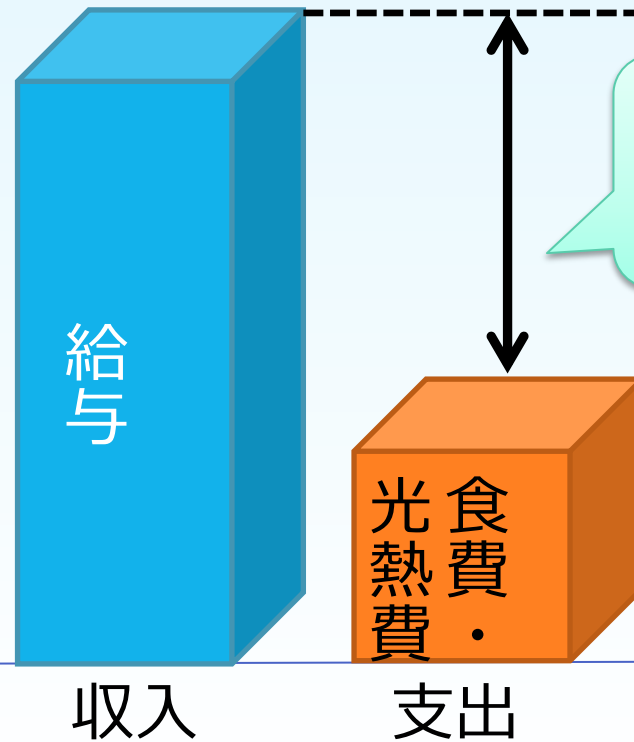
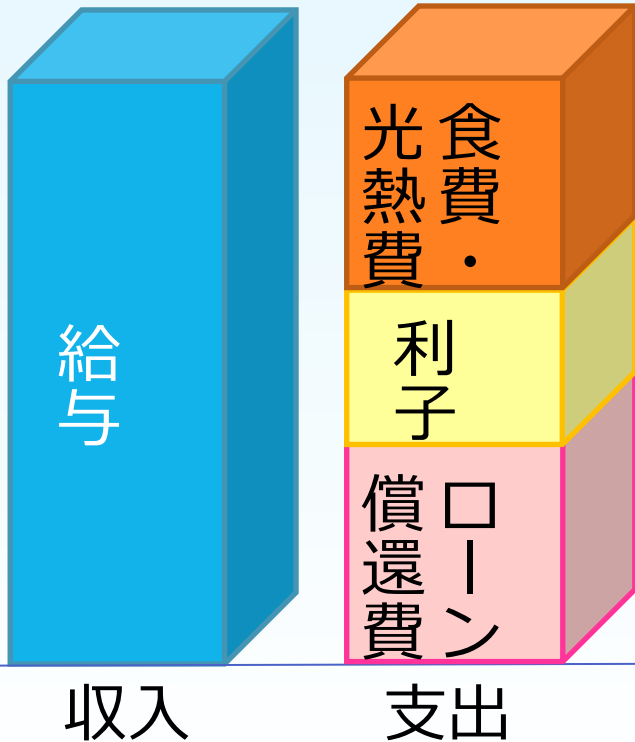
(例) 一般家庭の場合 …官庁会計 (現金の収支)



- ◆ 住宅を30年ローンで購入
- ◆ この家には50年住み続ける

借入返済まで (30年間)

借入返済後 (20年間)

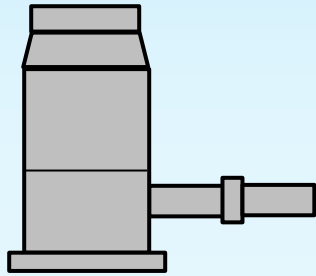


支出の負担が
減って利益が
増える

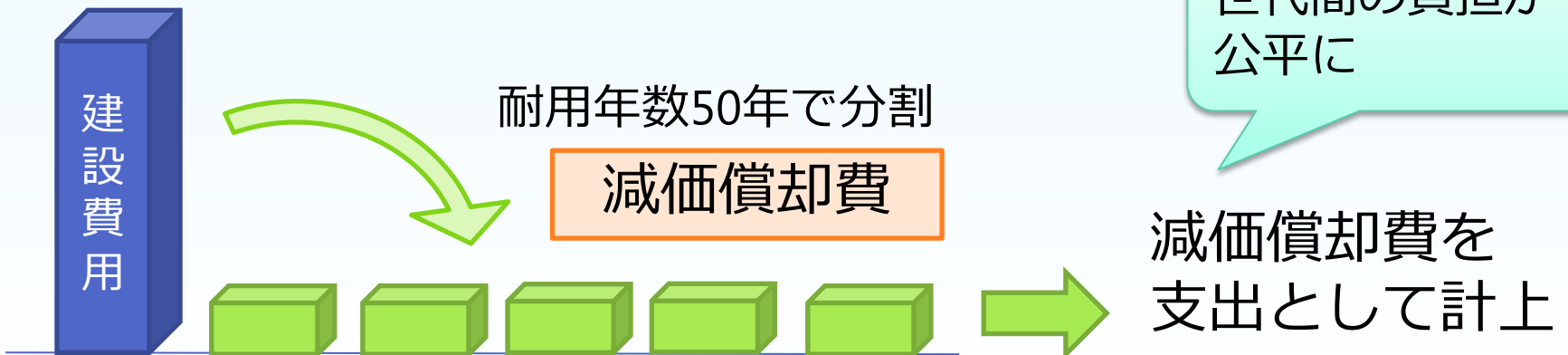
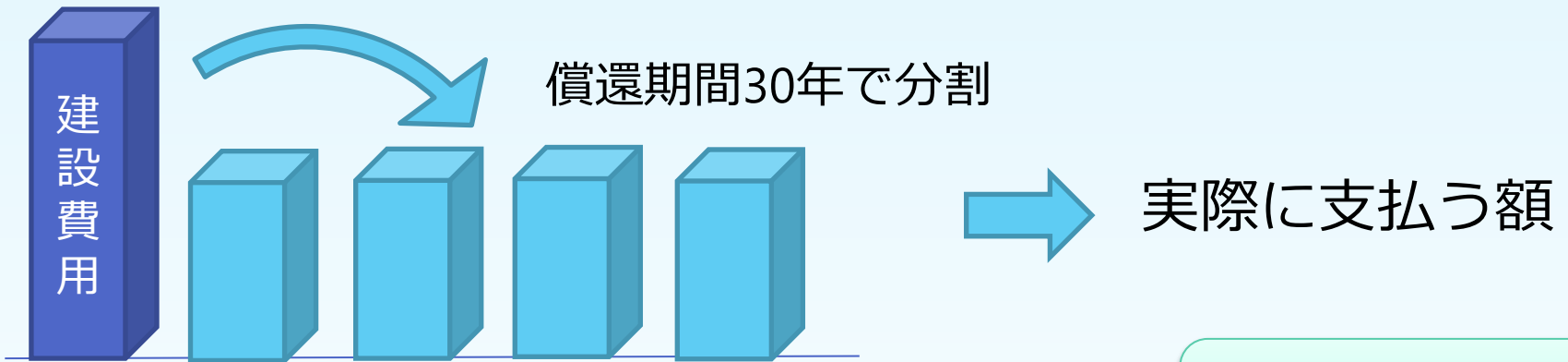
世代間の負担
に差が生じる

下水道の会計について-3

下水道事業の場合 …公営企業会計（損益と資産の収支）



- ◆ 管きよを企業債で構築
- ◆ 企業債の償還期間は30年間
- ◆ 管きよの耐用年数は50年間



下水道の会計について-4

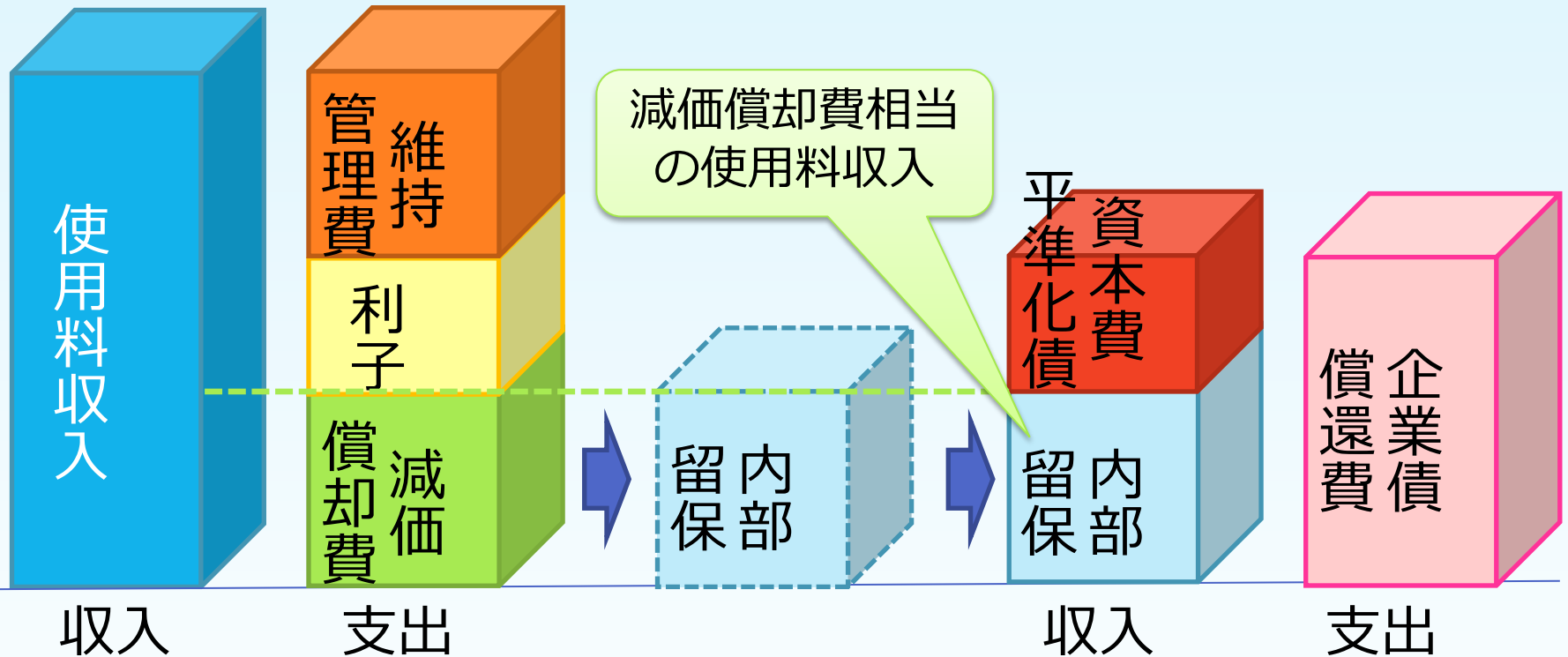
【下水道事業の収支】

収益的収支

(営業活動にかかる収支)

資本的収支

(施設の整備・改良にかかる収支)



- ◆ 実際の収支は補助金、繰入金等含めて算出します。
- ◆ ここでは説明を簡易にするために省略しています。

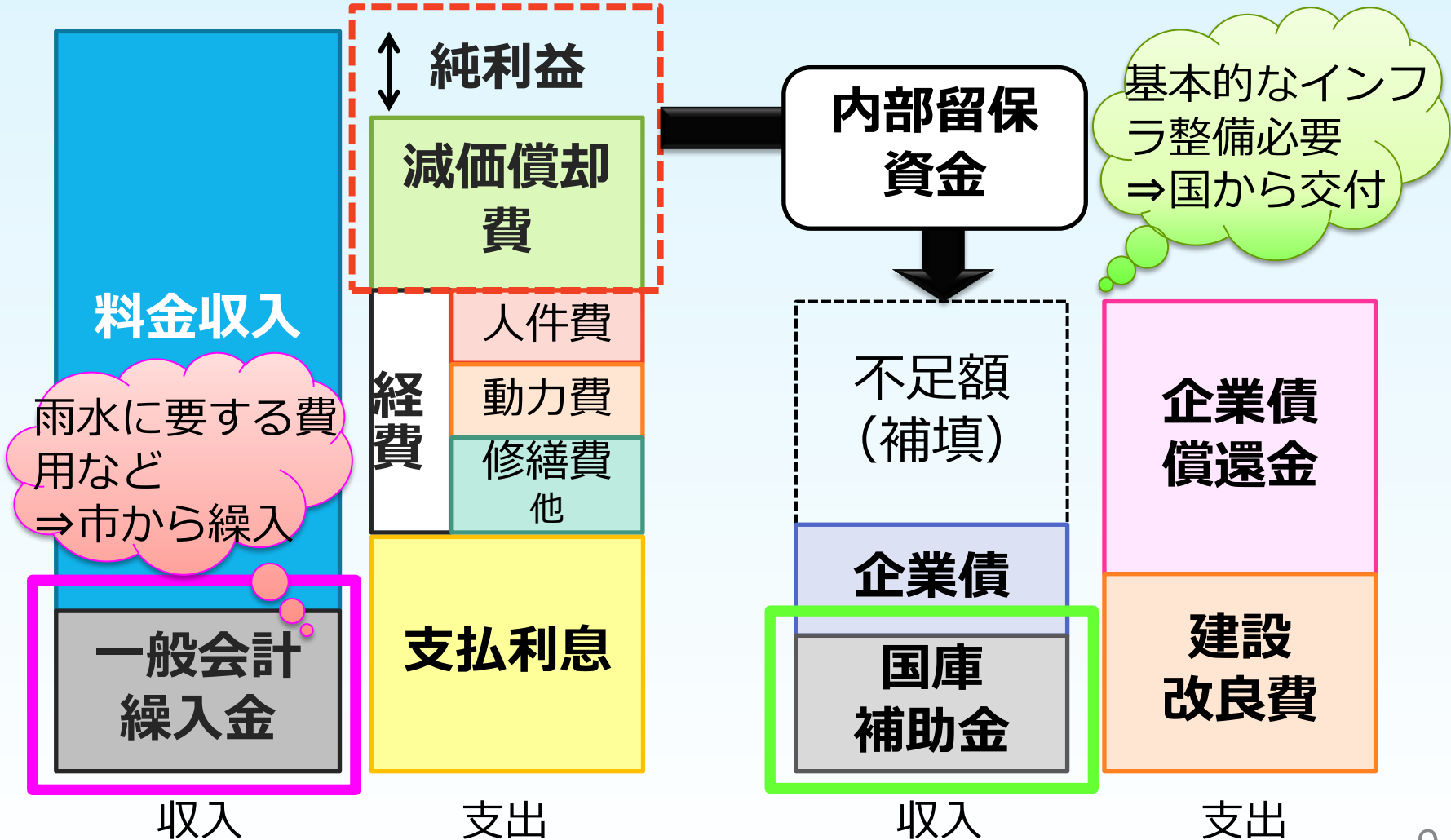
下水道の会計について-5

収益的収支

(営業活動にかかる収支)

資本的収支

(施設の整備・改良にかかる収支)



下水道の会計について-6

【一般会計繰入金の種類】

①基準内繰入金

…総務省が繰入することを認めたもの。

例) 雨水処理に要する経費、
分流式下水道等に要する経費

②基準外繰入金

…基準内繰入金以外の繰入金。

使用料収入の不足分に充当。

事業計画

基本目標	施策	前期 2019-2023	後期 2024-2028	次期以降 2029～
快適な生活環境の確保				
未普及地区の解消	污水管整備の継続	市街化区域の整備継続		
	全体計画区域の見直し	全体計画区域への見直し		
災害に対する安全性の確保				
浸水に対する備え	雨水対策施設の整備	雨水幹線の整備継続		
	総合地震計画の策定	計画策定		
地震に対する備え	既存下水道施設の耐震化	計画に基づく耐震化		
	下水道BCPの継続的運用	BCPの更新、継続		
健全で持続的な下水道事業の実現				
施設の老朽化対策	計画的な調査・点検	調査・点検の継続		
	計画的な修繕・改築	計画に基づく修繕・改築		
経営の安定化	接続率の向上（戸別訪問）	戸別訪問の継続		
	下水道使用料の見直し	検討		
	資本費平準化債の活用	活用の継続		
	有収率の向上	不明水対策の継続		
管理体制の効率化	組織体制の維持	継続		
	広域化の推進	検討		
	民間活用の推進	検討		
	技術継承	講習会への参加等の継続		
広報活動	マンホールカードの配布検討	新規配布検討		
	見学会・出前講座の開催	継続		

経営戦略の開始年度から75年間の財政シミュレーションを実施
【2019年度から2093年度（平成31～平成105年度）の75年間】

①投資について

□ 2019年度（平成31年度）までは総合振興計画に基づき設定

事業項目	内容
新規汚水整備	<ul style="list-style-type: none">年間整備量：13.2ha市街化区域面積に達するまで整備（2025年度（平成37年度）に整備完了）整備費、財源割合は過年度平均＝57,040千円/ha
新規雨水整備	<ul style="list-style-type: none">年間整備量：5.0ha（※整備費算出のため、整備量をヘクタールに換算）整備費、財源割合は過年度平均＝42,514千円/ha

①投資について

事業項目	内容
耐震化	<ul style="list-style-type: none"> 総合地震対策計画策定費：10,000千円 汚水の特に重要な幹線を10年間で耐震化 年間事業費：431,000千円 (詳細診断、管口の可とう化、人孔の浮上防止)
長寿命化	<ul style="list-style-type: none"> 平均年間事業費：136,000千円 (TVカメラ調査費、設計費、更新費) 長寿命化計画期間後となる<u>2038年度(平成50年度)</u>以降は年間事業費：887,000千円(耐用年数を75年間として算出)

その他の投資

- 流域下水道建設負担金は過年度平均値 (250,000千円)

②財源について

- 使用料収入は、水量予測×使用料単価（現況）で算出
- 補助率、一般会計繰入金は現状と同等
- 起債条件
 - 利率1%
 - 据え置き5年
 - 償還期間30年
 - 元利均等償還

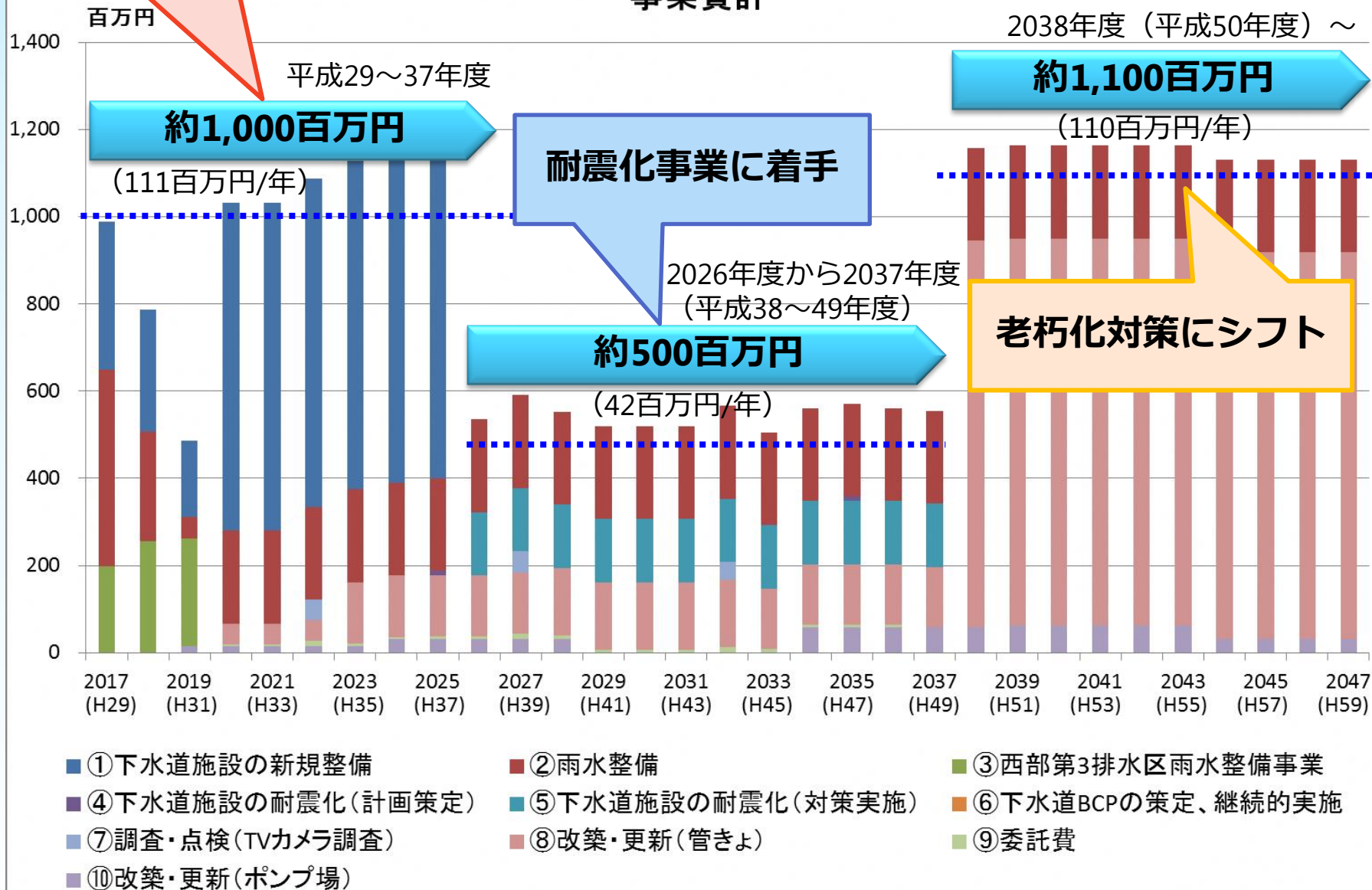
②投資以外の経費について

- 人件費は、2019年度（平成31年度）までは施策の資料で設定、以降は伸び率を考慮して算定
- 維持管理費は過年度平均値

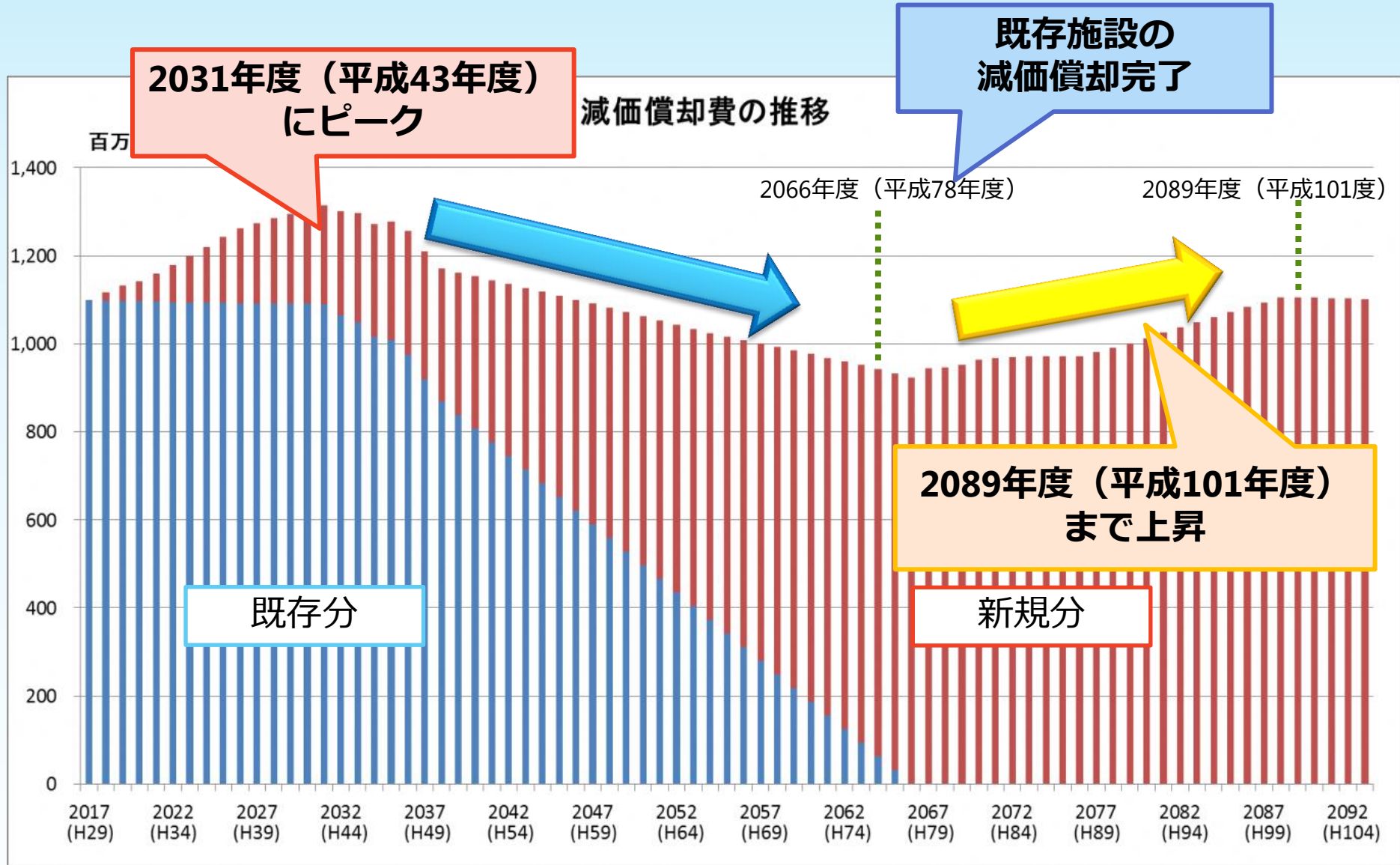
事業費

新規整備が中心

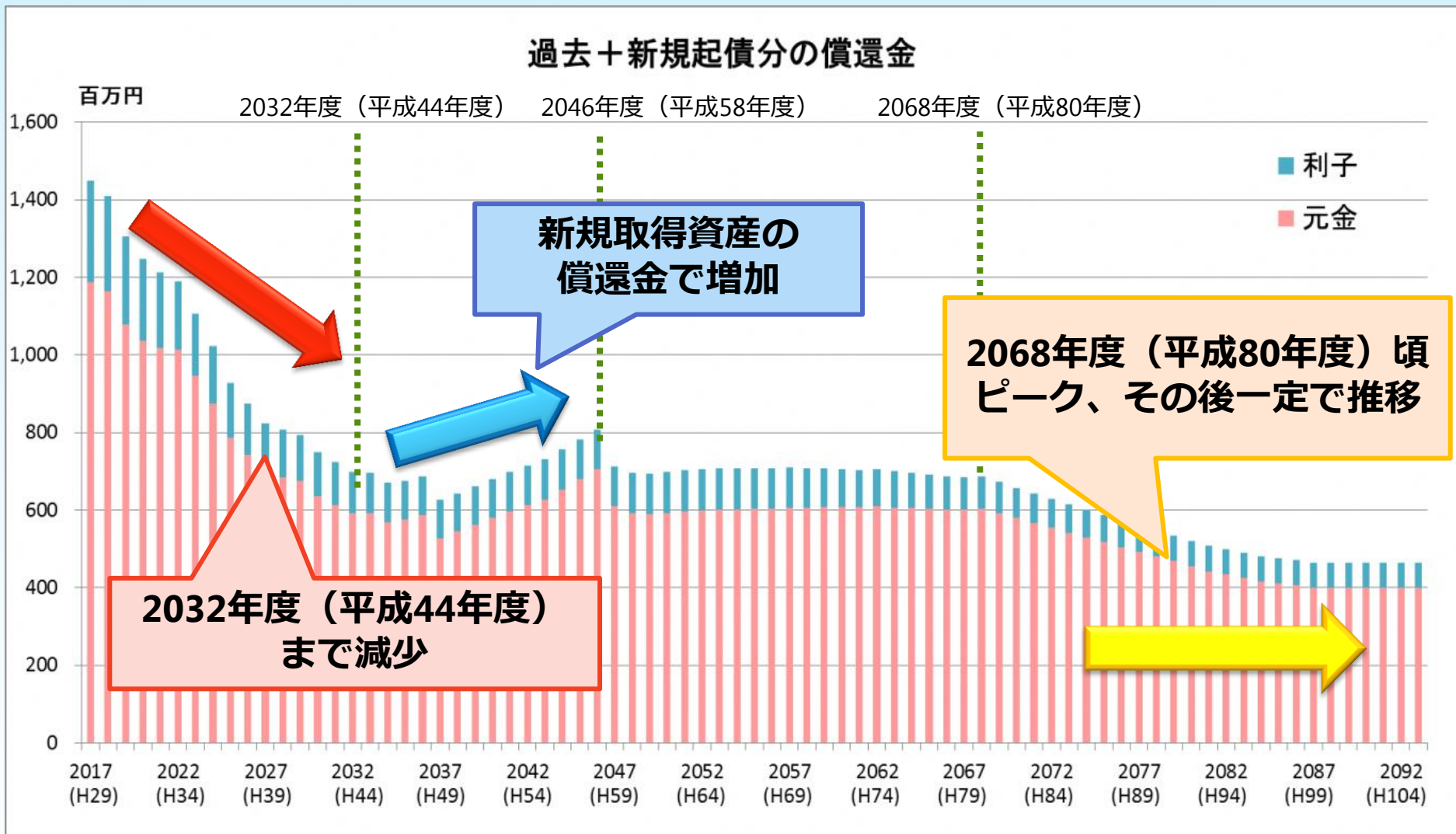
事業費計



減価償却費（補助金充当分を含む）



償還費



シミュレーション結果～ケース1～

【ケース1】 現況の繰入金（年間約11億円）

項目	現況 2016年度 (H28)	減価償却 ピーク①	償還金 ピーク①	償還金 ピーク②	減価償却 ピーク②
		2031年度 (H43)	2046年度 (H58)	2068年度 (H80)	2089年度 (H101)
繰入金 (百万円)	1,150	1,141	1,141	1,141	1,141
使用料収入 (百万円)	1,019	1,026	864	624	451
純利益 (百万円)	128	57	70	204	63
補てん財源 (百万円)	825	6,713	14,713	15,994	14,114
起債残高 (百万円)	13,934	10,309	10,486	8,145	6,577

※純利益は60百万円程度となるよう調整しています。

シミュレーション結果～ケース1～

【ケース1】 現況の繰入金（年間約11億円）の結果のまとめ

- ・ 使用料収入は減少しているが、純利益はプラスを確保
- ・ 繰入金を確保することにより資金ショートには陥らない
- ・ 起債残高を減少しつつ、補填財源も確保される



下水道事業が継続できる

ただし...

- ・ 繰入金は人口減少とともに減少が想定される
- ・ 基準外繰入金は独立採算性の原則から外れている



適正な使用料の検討を実施

【参考】シミュレーション結果～ケース2～

案 P.52

【ケース2】繰入金を5年ごとに20百万円減少させる

項目	現況 2016年度 (H28)	減価償却 ピーク①	償還金 ピーク①	償還金 ピーク②	減価償却 ピーク②
		2031年度 (H43)	2046年度 (H58)	2068年度 (H80)	2089年度 (H101)
繰入金 (百万円)	1,150	1,081	1,021	921	841
使用料収入 (百万円)	1,019	1,026	864	624	451
純利益 (百万円)	128	66	65	68	-171
補てん財源 (百万円)	825	6,193	12,753	10,294	3,034
起債残高 (百万円)	13,934	10,309	10,486	8,145	6,577

※純利益は60百万円程度となるよう調整しています。(2066年度(H78年度)まで)₂₀

【参考-2】 シミュレーション結果～ケース3～

案 P.53

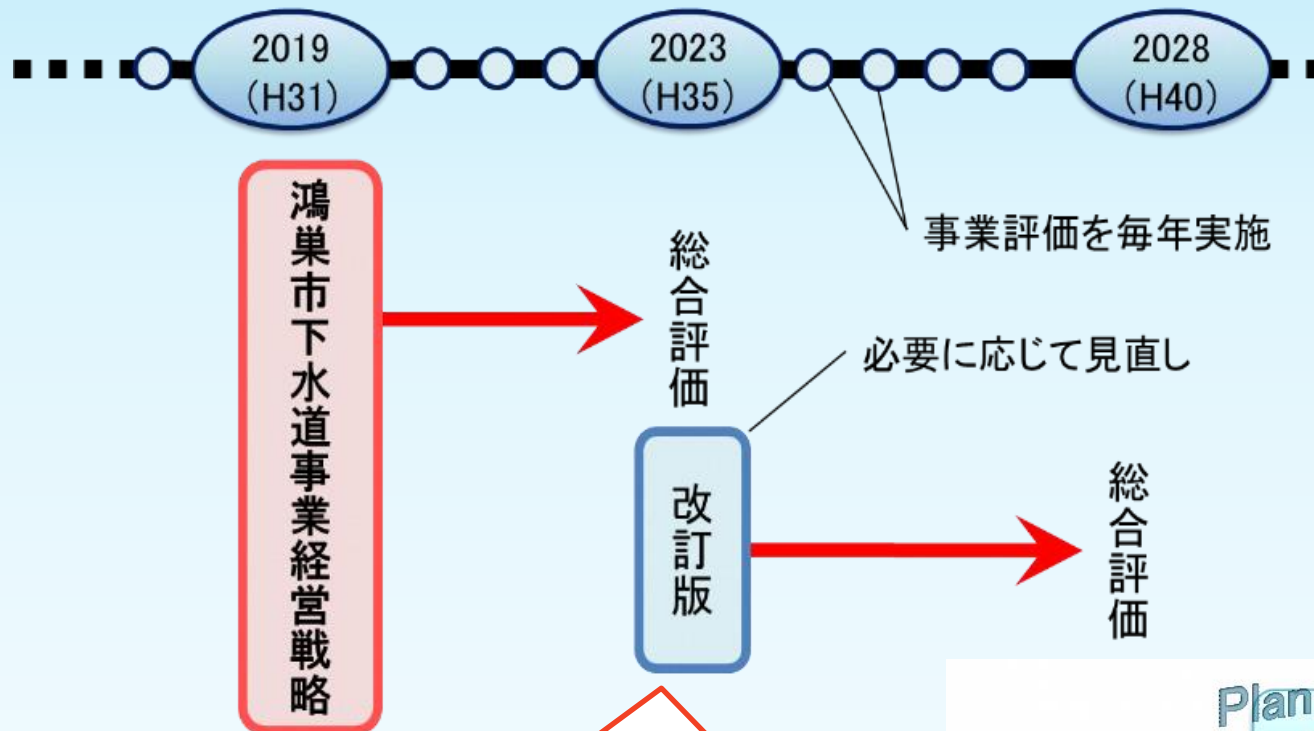
【ケース3】 補てん財源が赤字となる繰入金（約9億円）

項目	現況 2016年度 (H28)	減価償却 ピーク①	償還金 ピーク①	償還金 ピーク②	減価償却 ピーク②
		2031年度 (H43)	2046年度 (H58)	2068年度 (H80)	2089年度 (H101)
繰入金 (百万円)	1,150	881	881	881	881
使用料収入 (百万円)	1,019	1,026	864	624	451
純利益 (百万円)	128	37	50	16	-270
補てん財源 (百万円)	825	4,653	8,752	4,314	-3,026
起債残高 (百万円)	13,934	10,309	10,486	8,145	6,577

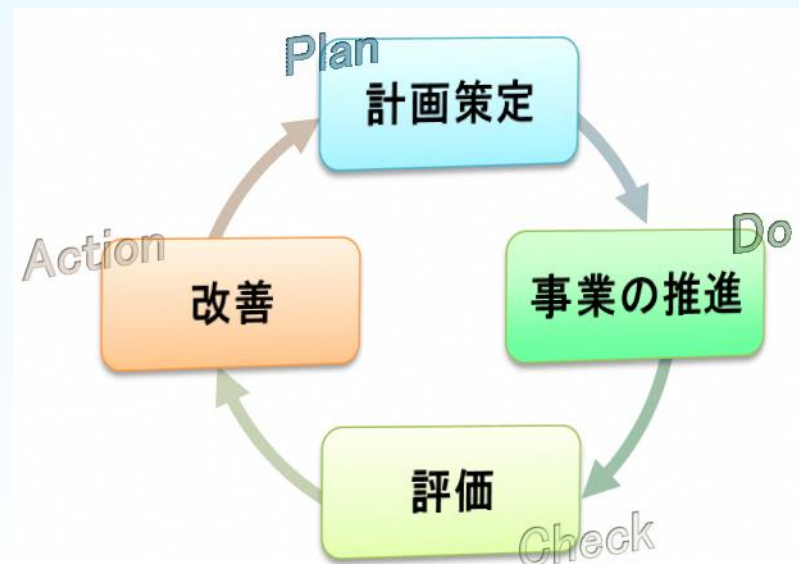
※純利益は60百万円程度となるよう調整しています。（2066年度（H78年度）まで）21

フォローアップ体制

事業評価と総合評価



- ✓ 未実施または1年以上遅れている事業は無いかな？
 - ✓ その原因と課題は何か？
 - ✓ 当初計画と乖離はないかな？
 - ✓ 新たな課題は発生していないかな？
- …など



定量的評価のための指標

指標	関連施策	現状値 2016年度 (H28)	目標値 2028年度 (H40)
処理区域面積	污水管整備の継続	1434.08ha	1530.1ha
雨水整備延長	雨水対策施設の整備	6.24km	7.1km
総合地震対策計画の策定	総合地震対策計画の策定	未策定	策定
重要な幹線等の耐震化	既存下水道施設の耐震化	未着手	着手
下水道BCPの継続的更新・運用	下水道BCPの継続的運用	運用	運用継続
ストックマネジメント計画に基づく管理	計画的な調査・点検、 修繕・改築	未実施	実施
接続率	接続率の向上	94.6%	98.0%
下水道使用料の見直し検討	下水道使用料の見直し	未着手	見直し検討
資本費平準化債起債額	資本費平準化債の活用	100百万円	100百万円
不明水対策の継続 (管路内調査・補修、情報収集)	有収率の向上 (不明水対策)	実施	実施継続

議題（2）パブリックコメント（意見公募手続） の実施について

パブリックコメント（意見公募手続）とは

市の計画等の策定又は改定の意思決定過程において、事前にその案を公表し、市民等から提出された意見又は提案を考慮して意思決定を行うとともに、当該意見等に対する市の考え方等を公表する一連の手続きをいう。

手順

市政情報コーナー等での閲覧、市HP掲載による公表
⇒ 意見公募 ⇒ 経営戦略案の修正（第3回審議会）

実施期間

10月22日～11月22日の31日間

第3回審議会の予定

開催予定日：1月9日（水）

- 1 パブリックコメントの意見と回答
- 2 パブリックコメントを反映させた修正案の提示
- 3 答申案